

第17回資金管理業務諮問委員会 議事概要

1. 日時：2006年12月18日（火）14時～16時10分
2. 場所：財団法人自動車リサイクル促進センター 第1・第2会議室
3. 出席者：永田委員長、辰巳委員、細田委員、松田委員、米澤委員、渡辺委員
4. 議題：①平成19年度離島対策等支援事業資金出えん計画（案）について
②平成18年度第2四半期決算報告について
③平成18年度第2四半期の運用の評価について
④取引証券会社における環境問題への取組み状況について
⑤平成19年度の広報活動の方向性について

5. 議事概要

※ 本議事概要では委員の主な意見、決定事項を中心にまとめており、資料に関連する質疑については後日、議事録を公表いたします。

（1）議題①について

平成19年度離島対策等支援事業資金の出えん計画案並びに離島対策支援事業の要綱一部改定案について、資料3-1～資料3-3（別紙を含む）を使用して再資源化支援部から説明。各委員からは出えん計画案については条件を付して、離島対策支援事業の要綱一部改正案については案のとおり了承された。

＜意見＞ （注）○は委員、●は再資源化支援部

- 資料3-2の別紙2にある三宅島の「結果」欄は事業者の数で説明されているが事業者数が問題なのではない。誤解を与えないように記述すべき。
- ご指摘の主旨を踏まえ記述を変更する。
- 資料3-2の別紙1で、各島の保有台数に対して19年度の発生予定台数の比率が一定していないのは何故か。
- 島ごとに事情があり、現地調査をして細かく見ている。今後も市町村と協力して数字の妥当性を上げていく。
- 資料3-2の別紙1の「台あたり単価」が3万円以上のところはまだ少し調整することを条件とする。
- 3万円を切るよう継続努力する。

(2) 議題②について

平成19年度第2四半期（平成18年4月から平成18年9月）決算報告について、資料4-1～資料4-10を使用して事務局から説明。各委員から了承された。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- 資料4-6の自動車所有者・ユーザー向け広報費支出が前年同期比較で減少しているのは事実だが、リサイクル法の広報費が減少したことによるというのは書き方に問題があるのではないか。昨年は初年度なのでかなり支出した。「立上げ期における告知活動の一段落による」といった表現で、過渡期であることを示したほうがいい。
- 資料4-9の評価損益の説明は、財務諸表に対する注記である資料4-8の「5. 満期保有の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益」の説明だが、資料4-8に直接書くか、資料4-8の中に(注)として「資料4-9に説明がある」といった表記はできないか。
- 監査法人と相談する。

(3) 議題③について

平成18年度第2四半期（平成18年7月から平成18年9月）の再資源化預託金等の運用状況と証券会社別の発注状況を資料5-1～資料5-2（別添を含む。）を使用して事務局から説明。各委員から了承された。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- 資料5-2の証券会社の入替えや緊急時の対応についてのマニュアルやガイドラインはあるのか。
- マニュアルを作成しており、その中で規定している。
- 運用の思想というものを見やすくWeb上で説明しているか。
- 見やすさというのは今後の課題であるが、運用の基本方針として公表している。

(4) 議題④について

現在、取引している証券会社の環境に対する取組状況を、資料6（別添を含む）を使用して事務局から報告した

<意見> (注) ○は委員、

- 今後変わっていくことがあるので、表には何月何日現在と書いておく方がよい。公表して各証券会社から意見があれば、修正版を出すとか、貰ったコメントを整理するとかを考えて欲しい。
- 証券会社にはフィードバックして他社の状況を知らせることは重要。

(5) 議題⑤について

平成19年度の理解活動の基本方針について、資料7を使用して事務局長から説明した。

<意見> (注) ○は委員、

- ホームページは消費者が分かりやすいようになっていない。ホームページの予算をとって、常に双方向の仕組みが出来ていくようにすべき。理解活動とホームページは同じものである。
- 多様な手段を講じながら情報を公開していき、訴えるところは訴えていくということ。具体的なイメージが湧くような格好で、どのようなテーマをとりあげていくかを検討してもらいたい。

以上